

医工連携 教育・研究プロジェクト

## 『医工連携リカレント講座』の受講者を募集します！

東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスでは、東京都が掲げる人生100年時代を実現するために、令和3年度から医工連携 教育・研究プロジェクト（裏面参照）を実施しています。本プロジェクトは、健康で豊かな生活を支援するシステムや機器の開発を支えるために、医学と工学分野の融合・複合を可能にする人材育成を目的としています。

プロジェクトの1つであるビジネスプログラム（リカレント講座）では、医療現場の状況や問題点を把握し、新たな医用機器の製品開発が可能な技術者を育成することを目指します。

このたび、令和5年度の開講講座の募集を開始しますので、お知らせします。

### 1 令和5年度開講講座（一例）

- ・医療福祉に関わる生体計測技術
- ・健康長寿と介護予防
- ・ソーシャル・ロボットの高齢者生活支援・認知症ケアへの活用 など

※講座一覧及び詳細内容は、[別紙](#)をご覧ください。

### 2 主な対象

中小企業の技術者、医療機器関連分野に携わっている方、医学・工学の新分野に興味ある方など、どなたでも受講いただけます。

### 3 開講日

令和5年11月25日（土）から

### 4 受講料

1,400～2,500円（講座により異なります。）

### 5 場所

東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス（荒川区南千住8-17-1）

### 6 申込方法

- ・以下のウェブサイトへアクセスの上、お申し込みください。  
<https://forms.gle/F5Yd5hXwgM36n9qa7>  
（右記のQRコードからもアクセスいただけます。）
- ・申込が定員を超えた場合は抽選で受講者を決定し、結果をメールでお知らせします（各講座定員16名）。



# ものづくり × 医工連携

医工連携共同研究

未来工学教育プログラム

医工連携リカレントプログラム



東京都立産業技術高等専門学校

## 医工連携 教育・研究プロジェクト

### 未来工学教育プログラム

・荒川キャンパスのコースカリキュラムに加えて、技術潮流に合わせた最先端技術を学ぶ技術者育成プログラムです。現在のテーマは、医工分野で注目されているIoT+AI技術の社会実装です。オブジェクト指向型プログラミングを基本に、データサイエンスや機械学習を学びます。更に、デザイン思考のプロジェクト科目を通して、柔軟な発想力と実践力を身に付けます。

### 医工連携共同研究プログラム

・技術者だけでは方向性を見出すことが難しい医療福祉分野において、東京都立大学健康福祉学部と共同で、パラメディカルや医師との連携による問題解決を試みます。医工両者が多様な視点から共同で研究を行うことにより、シナジーを發揮した開発が期待できます。

### 医工連携ビジネスプログラム

・医用機器分野の技術をさらに深めたい技術者や、新たな分野に挑戦したい技術者を対象として、実習演習を重視した基礎から学べるビジネスプログラム（リカレント講座）を開講しています。医療現場の状況や問題点を把握し、新たな医用機器の製品開発が可能な技術者を育成することを目指します。

本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。  
戦略5 誰もが輝く働き方実現戦略  
「生涯を通じたキャリア・アップデートプロジェクト」

《問合せ先》

東京都立産業技術高等専門学校  
高専荒川キャンパス管理課  
電話 03-3801-0145

学びなおしを  
サポート!!

AI技術と日本が誇る中小企業の  
「ものづくり技術」を連携させ、  
医療機器産業でのイノベーション  
に繋がられるよう、自分自身を  
アップデートしませんか？

# 東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 医工連携リカレント講座



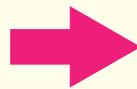
多くの方々のご参加を  
お待ちしております!

- ◆ 中小企業の技術者
- ◆ 医療機器関連分野に携わる方
- ◆ 新分野に挑戦してみたい方
- ◆ 産技高専の保護者の皆様 など

専門知識が無くてもご受講いただけます!



講座の詳細、  
お申し込みはこちら



東京都立産業技術高等学校専門学校 荒川キャンパス

〒116-8523 東京都荒川区南千住8-17-1 TEL:03-3801-0145

情報通信工学/ロボット工学/航空宇宙工学/医療福祉工学

～令和5年度 医工連携リカレント講座 お申込みに当たって～

以下をご覧ください、ご理解いただいた上で、お申し込みください。

- ◆申込締切後、ご登録いただいたメールアドレスに受講案内をお送りします。受講料振込期限は、講座案内に記載します。
- ◆各講座の定員はそれぞれ16名です。申込が定員を超えた場合は抽選で受講者を決定し、いずれの場合も結果を通知します。
- ◆申込者が3名に満たない場合は、講座を中止することがあります。その場合、申込締切日以降にお知らせいたします。
- ◆講座当日は受講料を振り込んだ事実が分かるもの（紙媒体の「ご利用明細票」やスマートフォンの入出金明細画面等）の提示を求めます。振込をした事実を確認できない場合は受講できません。
- ◆当日の欠席や遅刻については、連絡不要です。ただし、既にお支払いいただいている受講料を返還することはできません。
- ◆配布資料等がある場合は、講座当日に配布します。欠席された方への資料送付は行っておりません。

## 健康長寿と介護予防

日時：2023年11月25日（土）13:00～16:00

講師：河合 恒 氏（東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム）

講師略歴等：<https://researchmap.jp/read0078158>

受講料：1,700円

場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス→ウェブ受講も可能です！

健康長寿のためには疾病予防だけではなく、加齢による足腰の虚弱化や食べる機能の低下などの生活機能低下を予防することが重要です。加齢による生活機能低下は老年症候群やフレイルと呼ばれます。本講座ではこれらの評価や対処について学習します。また、受講者同士のディスカッションを行います。

## ソーシャル・ロボットの高齢者生活支援・認知症ケアへの活用

日時：2023年12月2日（土）10:00～13:00

講師：井上 薫 氏（東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 准教授）

講師略歴等：<https://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/a/296.html>

受講料：1,700円

場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス（対面のみ）

ロボット技術の発展に伴い、実用性の高いソーシャル・ロボットが身近なものとなりました。この講義で言うソーシャル・ロボットとは、家庭の中で人の生活を支援するロボットを指します。ここでは認知症の人、高齢者に対する活用に焦点を当て、その効果と課題を紹介いたします。なお、受講者同士でディスカッションを行い、学びの共有を行います。

## 住まいの転倒予防と車椅子の環境づくり

日時：2023年12月2日（土）14:00～17:00

講師：橋本 美芽 氏（東京都立大学 健康福祉学部 作業療法学科 准教授）

講師略歴等：<https://www.tmu.ac.jp/stafflist/data/ha/706.html>

受講料：1,700円

場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス（対面のみ）

住まいの安心・安全の基本は転倒予防の環境づくりです。特に高齢者の健康を守るために、家の中での転倒事故を防ぐことが重要です。どのような場所で転倒しやすいのかをご紹介しますとともに、ご自宅の点検方法についてご紹介いたします。また、簡単な転倒予防の環境づくりと注意事項について解説します。

講義の後半では、車椅子で生活される方の環境づくりについても触れます。移動のための環境を中心に、車椅子の特性の紹介、生活環境の基礎知識をご紹介します。

## 健康的な生活で認知症予防：生涯を通じた予防の重要性

日時：2023年12月3日（日）13:00～16:00

講師：桜井 良太 氏（東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム）

講師略歴等：<https://www.tmghig.jp/research/>

受講料：1,600 円

場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス→ウェブ受講も可能です！

健康寿命の延伸には、他者との関わり合いを基礎とする「社会参加」と、体をイキイキした状態にするための「習慣的な運動」が大きな役割を果たしており、若・中年期から、このような生活に気を付ける必要があることが分かってきています。本講座では、この「社会参加」と「習慣的な運動」に着目して、日常生活から考える健康維持、とりわけ認知症予防について、受講者同士のディスカッションを交えて理解を深めていきます。

## 医療機器に求められる法規制

日時：2023年12月9日（土）14:00～16:00

講師：倉田 優 氏（株式会社ライズアップ 代表取締役）

講師略歴等：外資系整形外科インプラントメーカー、外科手術器械製造会社（設計、製造、販売）において第三種医療機器製造販売業許可・ISO13485 認証の取得及び維持運用に携わる。株式会社ライズアップ 代表取締役を務め、ISO9001・13485 主任審査員、QMS 構築・ISO 認証取得支援・医療機器開発支援を行っている。

受講料：1,400 円

場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス（対面のみ）

医療機器には様々な法規制があります。医療機器メーカーとして会社組織に求められる法規制に焦点を当て、薬機法をはじめとした法規制やルールを学び今後の事業活動への足がかりとなる講義です。また、受講者同士のディスカッションを行います。

## 医療福祉に関わる生体計測技術

**日時：2023年12月16日（土）10:00～13:00**

**講師：田村 俊世 氏（早稲田大学次世代ロボット研究機構 招聘研究員）**

**講師略歴等：国立療養所中部病院 長寿医療研究センター・老人支援機器開発部  
部長、千葉大学 工学研究科 教授、大阪電気通信大学 医療福祉工  
学部 特任教授等を経て、現在に至る。**

**受講料：1,700 円**

**場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス→ウェブ受講も可能です！**

高齢者、障害者の生活の質を向上する様々な健康管理機器・介護機器を紹介するとともに、今後実用化が期待される支援技術についても紹介します。また、支援技術開発の基礎知識として高齢者・障害者の身体機能、心理・認知機能について学び、受講者同士のディスカッションを行います。主な内容は、様々な健康管理・身体機能・心理機能支援機器の紹介とIoT、AI、ロボットなどを用いた未来の支援機器開発状況等です。

## 医療機器のリスクマネジメント入門講座

**日時：2023年12月16日（土）14:00～16:00**

**講師：倉田 優 氏（株式会社ライズアップ 代表取締役）**

**講師略歴等：外資系整形外科インプラントメーカー、外科手術器械製造会社（設  
計、製造、販売）において第三種医療機器製造販売業許可・  
ISO13485 認証の取得及び維持運用に携わる。株式会社ライズア  
ップ 代表取締役を務め、ISO9001・13485 主任審査員、QMS 構  
築・ISO 認証取得支援・医療機器開発支援を行っている。**

**受講料：1,400 円**

**場所：東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパス（対面のみ）**

医療機器を扱うためには「リスク」について避けて通れません。開発・製造・販売など様々な場面における「リスク」についての考え方や対処方法を、具体的事例を交えて解説します。また、受講者同士のディスカッションを行い、理解を深めていきます。

### <お申し込み方法>

以下の URL より、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

<https://forms.gle/F5Yd5hXwgM36n9qa7>

**※追加講座検討中：上記のほか、追加で 2 講座を実施予定です。内容が決まり次第、本ページを更新しますので、ぜひチェックしてください。**

### 【ウェブ受講の注意事項など】

#### <事前準備>

- カメラ、マイクがついた PC での受講を推奨します。
- Microsoft Teams を使って受講していただきますが、事前のインストールやアカウントの作成は不要です。
- ウェブ受講を希望された方には、講座開講日の 3 日前までに、講座に参加するための URL をメールにてお送りします（ウェブ受講が可能な講座のみ）。講座当日の操作のご案内はできませんので、事前に当該 URL からアクセスし、問題なく接続できるかをご確認ください。

#### <講座当日>

- 受講前にカメラを on にしていただき、受講料を振り込んだ事実が分かるもの（紙媒体の「ご利用明細票」やスマートフォンの入出金明細画面等）の提示を求めます。振込をした事実を確認できない場合は受講できません。
- 原則として、スクリーンと講師を映した状態で受講していただきます。通信状況等によっては、スクリーンの内容が見えづらい・音声聞き取りづらい・ディスカッションの際に支障をきたす等、不具合が発生する場合があります。予めご了承ください。
- マイク、カメラは原則として off の状態で受講していただいて構いませんが、ディスカッションの際など、講師からマイク、カメラを on にするよう依頼があった場合は、その指示に従ってください。
- 講座の録音、録画は禁止とさせていただきます。



<問合せ先> メールにてお問い合わせください。

kyomugakusei\_a [at] jmj.tmu.ac.jp

東京都立産業技術高等専門学校 医工連携リカレント講座担当宛て

(恐れ入りますが、メール送信の際には上記アドレスの[at]を@に置き換えてくださいますよう、お願いいたします。)

# ものづくり × 医工連携

医工連携共同研究

未来工学教育プログラム

医工連携ビジネスプログラム



東京都公立大学法人

東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス

<https://www.metro-cit.ac.jp>